

# 山口市議会報告

地域政党  
やまぐらの風

Yamaguchi City Council Report

vol.14

発行責任者  
山口市議会議員

竹中一郎

## 市民の皆様が使いやすく、 長く親しめる本庁舎に

山口市新本庁舎の配置案が提示される 基本設計は年内に最終案



パークロード側から見た新庁舎のイメージ模型。左奥が本庁舎棟、その手前の隣接する白い屋根が市民交流棟、右手の建物は立体駐車場。

この度、新本庁舎整備基本設計の中間報告がありました。この報告を踏まえ、今後は外観デザインや総事業費などを検討、年内には基本設計の最終案が公表される予定です。

### コンビニやカフェを併設

本庁舎のエントランスとしての役割、市民の憩いや多様な活動を促す場として「市民交流棟」が整備されます。交流棟には、展示や催事、談話スペースとしての「交流ラウンジ」や「多目的スペース」のほか、コンビニやカフェも配置されます。

### 憩いの広場や立体駐車場も整備

市民の憩いの場や多様なアクティビティの場としてのほか、災害時には市民交流棟と併せた利活用が想定されています。また、本庁舎に隣接して亀山や県立美術館周辺の景観や色彩等に配慮した立体駐車場が建設される予定です。

新本庁舎は令和6年度、市民交流棟と立体駐車場は令和8年度完成予定となっています。

## Achiro's Eye

気づいたこと感じたこと

### これからの本庁舎に 必要な機能とは

新しい本庁舎には、施設面だけでなく、これからのデジタル社会構築に向けた機能が求められます。市役所に行かなくても手続きが簡単にできるよう、庁舎整備と合わせ

様々な検討が必要です。

一方で、窓口で市職員と対面で相談することが重要な手続きもたくさんあります。例えば成年後見制度に関する相談。現在は担当課内に併設されている成年後見センター（下記）を、専門職を配置し課から独立させて整備することも重要だと考えています。



新本庁舎オフィスのイメージ

新本庁舎は、来庁者にとって居心地の良い空間であるとともに、生産性、汎用性の高いオフィスとなるよう検討が進められています。

## Topics 今伝えたい話題



### 山口市成年後見センター開設

成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、ものごとを判断する能力が十分でない人の財産や権利を守るため、家庭裁判所に選ばれた「成年後見人」などが、本人に代わって財産の管理や日常生活上の手続きを行うものです。

この制度の利用に関する相談窓口として、「山口市成年後見センター」が高齢福祉課内に開設されました。弁護士や司法書士と連携し専門的な相談にも対応しています。



# 質問と答弁

Q u e s t i o n & A n s w e r

## 1 保育所における 新型コロナウイルス感染症対策 について

### ▶質問

基本的な感染予防対策が取りづらいため未就学児には対応に苦慮しながらの感染症対策となっているが、保育所における感染症対策の現状と、感染拡大への対応について伺う。



### ▶答弁

基本的な感染症対策に加え、来所者に対して、健康管理や検温、手指の消毒、場合によっては、来所の制限を行っている。行事や活動については、感染レベルに応じた基準に基づき実施している。また、6月には、職員を対象にワクチンの優先接種を行った。今後はICT化の推進や、紙おむつの処分を行うなど、保育所に対する支援体制を整えていく。

### ▶議会での主張

保育所が臨時休園となった場合、保護者は仕事を休む必要があるなど、家庭への影響も大きい。しっかりとした対策に取り組んでいただきたい。

## 2 異常気象の原因とされる 地球温暖化、その対策の広報や 啓発について

### ▶質問

本市の取り組みとして本市独自のキャラクター「選ぶー」を活用した啓発事業を進めておられる。市民にどのくらい浸透しているのか。さらなる周知の工夫が必要である。いかに市民にわかりやすく訴え、今後、どのように広報や啓発を進めていかれるのか伺う。

### ▶答弁

シンボルマーク及びキャラクターを作成し、コミュニティバスやごみ収集車にラッピングすることにより、多くの市民の目に留まり、親しみを持っていただくことで機運の醸成に努めている。また、幼稚園においてキャラクターを活用した環境学習にも取り組んでいる。子ども達が安心して生活できる脱炭素社会の実現に向け、市民や事業者と連携を図り、メディアやイベント、SNS等を活用し分かりやすい情報発信に努める。



### ▶議会での主張

地球温暖化と異常気象の関連性を市民に理解いただき、市民一人一人の協力の必要性をわかりやすく訴えていただきたい。

## 3 『まちを楽しむ。』をテーマとした 中心市街地の活性化について

### ▶質問

中心市街地の活性化を実現するための取り組みの一つとして「まちなかクリエイティブフィールド事業」を実施されている。本事業の具体的な取り組み内容及びその効果について伺う。

### ▶答弁

子どもたちの感性を活用したものづくりを来街のきっかけづくりとし、子どもから大人まで楽しめる中心市街地となることを目指している。中心商店街の空き店舗を活動拠点としており、「VIVITA DEMO DAY in YAMAGUCHI」において作品を発表する。子どもたちにとって中心市街地が、ふるさと山口の顔として、心のふるさととして、愛着や自己の存在感を醸成するまちとして認識されることを期待している。



### ▶議会での主張

山口商工会議所「未来都市構想」の映画館の商店街での復活も子どもから大人まで「楽しめるまち」に必要なだと認識している。

## 4 中央消防署について

### ▶質問

現在の消防庁舎は老朽化が進んでおり、消防行政機能を最大限発揮するため将来的に抜本的な再整備が必要である。消防本部や通信指令センターは令和7年度に新本庁舎内で業務開始する予定とされているが、中央消防署についての検討状況を伺う。

### ▶答弁

消防本部・中央消防署庁舎は、空調設備等を含め老朽化が進んでいる。消防本部・通信指令センターは新本庁舎に集約することとなり、残る中央消防署の建替え整備についても検討を進める必要がある。今年度、新たに消防本部内に庁舎建設にかかる検討委員会を立ち上げたところであり、中央消防署における課題を整理するとともに、必要な機能、床面積等の建物の規模、ゾーニング、概算費用などについて検討を行う。今後も市関係部局と情報共有しながら検討を進める。

### ▶議会での主張

消防本部及び通信指令センターの新本庁舎統合が計画される中で、老朽化が進む中央消防署についても、災害対応力向上の対策を検討されたい。

